

ほんのしるべ

# 書標

2017.  
1月号

2017年1月5日発行（毎月1回5日発行）  
通巻458号 昭和61年7月15日第三種郵便物認可



## 世界の本屋さん

vol.61

### ベトナム・ホーチミン スアントウ書店

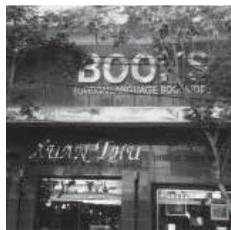
ノセ事務所

能勢 仁

フランス植民地時代のベトナムを思い出させる書店である。それは品揃えを見ればわかる。フランス書、ベトナム書が多く、それ以外に中国書籍、英書が並んでいた。残念ながら日本語の書籍、地図は無かった。

この書店はホーチミン市では一番インターナショナルな書店である。本以外にも時計、文具、CD、ぬいぐるみ等も販売していたが、書店としての主張を忘れていない。それはレファレンスの充実でわかる。本売場の分類、表示も詳しい。ワンフロアーの書店としてはホーチミン一番で、二三四坪ある。従業員の多いことも市内一番である。男子十五名、女子二十名の社員は五メートル間隔で並んでいた。本のコーナーは原語別に四つに分

割されている。仏、中、英、ベトナム、それぞれのコーナーに専門性を感じた。ベトナムコーナーは医書に力が入り、フランスコーナーでは文芸書が多かった。全体的に専門・総合書店である。立地は街の中心地コンチネンタルホテルの前なので、外国人利用の多いことが特色である。書棚表示は詳しく分類されていて、ビジネス、旅行、歴史、書道、児童、女性、宗教、音楽、医学、建築、政治、教育、心理、技術、経済、情報となっていた。本の売場の中央は棚四段、高さ一・二メートルなので店全体の見通しがよい。その反対に両サイドの壁面棚は天井まで本が並べられている。棚は八段だが、上二段は高くて手が届かない。量と質を誇る書店が多く読者を呼んでいるのであろう。



「いや、結構。その(さなたそば)を  
 いただくようじゃありませんか。それとお  
 酒を熱くして……この三が日というもの、  
 日中はまあ暖かだ、いいお正月だったが、  
 今日(けふ)も朝から冷え込みますね」

にっぽん怪盗伝 改版 新装版より

『正月四日の客』池波正太郎著

(角川文庫)より



# もくじ

世界の本屋さん 61

「書標」歳時記(1月)▽

著書を語る(597) 『怪書探訪』は本の「村まつり」

古書山 たかし

1

書標・書評 『メオトバンドラ』ほか

特集 漫画になった文学 第7弾

後悔しない選択のために

今月のおすすめ

社会科学	16	コンピュータ	18
自然科学	19	医学書	20
人文科学	21	文学・芸	22
文庫・新書	23	芸術	24
実用書	25	地図・旅行書	25
語学・辞典	26	児童書	27
コミックフロアより			
インフォメーション			
本屋うらばなし「静男」			
	30		28

※表示価格はすべて本体価格です。

# 『怪書探訪』は本の「村まつり」

古書山 たかし

『怪書探訪』は、「本の本」である。

良くも悪くも内容はてんでばらばら。トーマス・マ  
ンの署名本の宛先が誰だったのかという追跡劇（とい  
う程大げさなもんじゃないですが）に始まり、天下の  
奇書『醜醉人間』を自分のためだけに復元製本してし  
まうマッドサイエンティスト型エピソード、十八世紀  
に出版された最も偉大な書籍の一つといわれるサミュ  
エル・ジョンソンの辞典をめぐる切ない物語と続き、  
ネタの硬軟は烈しく乱高下する。

それ以降も一貫性のなさだけは一貫し、昭和二十年  
代に書かれた頭脳を持った殺人筆筒が暴れまわるとい  
うトンデモない内容の少年探偵小説のレビューとその  
意外な元ネタ、ユデスキーさんが書いたそばの本・ハ  
ンターさんが書いたハンター（狩猟家）の本といった  
名詮自性系、バッハの偉大な傑作「マタイ受難曲」の  
最高の演奏が行われた背景に迫ったマンガの紹介、尾

崎紅葉が綴った桃太郎暗殺計画、井上靖の雪男小説、  
コレラ菌に変身してしまったハックルベリー・フィン、  
哲学者カントのエスパー対決記、満州で日本語で刊行  
された探偵小説について、おなら名人の愉快なエピソ  
ドなどがてんこ盛り。

ざっくり大きく分ければ、①内容が珍奇な本、②残  
存部数が少なく求める人の多い稀覯本、③その本にま  
つわるエピソードがユニークな本についてなど、全部  
で三十編の多彩な（といえは聞こえがいいが）古書エッ  
セイから構成されている。

プロのもの書きでもなんでもなく、ただの本好き素  
人である私は、何か一つのジャンルに特化して専門的  
に研究してきた訳ではない。その意味で、キエルケグー  
ルのごとく「あれか、これか」ではなく、「あれも、こ  
れも」と手当たり次第に読み漁り、集めまくった結果  
報告といえるだろう。

もつとも、「あれも、これも」といいながら、自分に興味のないネタまで無理やり取り上げた事例は皆無。ネタはあくまでも自分が入れ込んでいるものばかりであり、結局のところ『怪書探訪』に書かれているのは、Linuxカーネルを開発したリーナス・トーバルズの自伝風にいえば、「それがぼくには楽しかったから」、読んだり集めたりしてきた本の話なのである。

妙なたとえかも知れないが、この小さな書物はいわば本に関する村まつり。様々な屋台が店を出しているが、その全ての店主を私が兼任し、この屋台では綿あめをクルクルやり、この屋台では金魚すくいの親爺となり、少しでも本好きな皆さんに喜んで頂こうと奮闘している心持なのである。

ジュンク堂やMARUZENに足を運ぶだけでなく、この『書標』を手にとられる以上、今この文章を読んでもおられる皆さまは、相当な本好きでいらっしやるし、その大半の方は、ヤクザな本の読み方しかしてこなかった私より、よほど「書物をめぐる機微」に通じておられるだろう。それはほぼ確実なことである。

とはいえ、ただの本読みだった私が、本書にあるように多くの偶然から沢山の「怪書」にめぐりあい、本当にまったくの偶然から東洋経済オンラインに古書

エッセイを連載し、しかも、どういう訳かそれが出版元の御意にかなない出版されるに至ってしまったのは、有難い「ご縁」のお蔭。そして、この「ご縁」の結果生まれた『怪書探訪』という「村まつり」を訪れて下さった本読みの皆さまが、本書を読まれ、たとえ一度でも「あ、本にはそんな楽しみ方もあったか。それもいいよね」と思っただけ下さったり、あるいは偶然それまで知らなかった本との新たな「ご縁」が出来るきっかけにして頂けたら、こんなに嬉しいことはない。

皆さまにそう思っていたことが、私に様々な出会い（本との出会いも、人との出会いもどちらもである）をもたらしてくれた古本の神様へのささやかな恩返しとなるのである。



『怪書探訪』

東洋経済新報社・1,800円



## 『メオトバンドラ』

キッチンミノル写真 桑原滝弥詩

出版社FOIL・二〇〇〇円

夫婦ってなんだろう。役所で受理された婚姻関係なのか、だとしたら仮面夫婦も法的に夫婦ということになる。欧米でスタンダードになりつつある事実婚は夫婦ではないのだろうか？ 明確な正しさや説得力を持った夫婦の定義など存在しないように思える。メディアには夫婦に関するデータが山ほどあるが、実際はその関係について語りたがる夫婦は少ない印象を受ける。「おしどり夫婦」と呼ばれ、カメラの前で深刻な内情など語れるわけがない。親しい仲であつても、キャッチーなところだけ啄んで可愛い愚痴をこぼす夫婦はいるが、本当のことはふたりだけの秘密なのである。その秘密をふたりで守るのが夫婦なのかもしれない。

本書はその秘密だらけのバンドラの箱をちよつとだけ覗き見できる一冊だ。写真家キッチンミノルによる様々な夫婦のポートレートは、それぞれ夫婦の可愛い

だけじゃ済まされない関係が滲み出ている。同志として、時に喧嘩相手として、支え合いぶつかり合ってきた関係を物語る「いい顔」をしている。夫婦は静かに、どこか誇らしげに爆発している。

それだけで例えようのない熱い気持ちになるのだが、そこに桑原滝弥の飾り気のない詩がガツンとくるのだ。「気づけば毎日殺し合いをしているみたいだ」。

なんなんだ、夫婦ってめちゃくちゃカッコいいじゃないか。まるで痺れる程カッコいい夫婦バンドだ。メオトバンドだ。駄洒落になつてしまつたが、近頃は見慣れた親すらカッコよく見えて仕方がない。どうぞ、夫婦もそうでない方も存分に痺れてください。(あ)

## 『人間と機械のあいだ』

心はどこにあるのか

池上高志・石黒 浩著

講談社・一三〇〇円

指数関数的に変化する技術革新(ムーアの法則)によつて、人工知能の世界的権威であるレイ・カーツワイルは、二〇四五年頃にAIが人の知能を抜くと予測している。所謂「二〇四五年問題」で

ある「シンギュラリティ」を、あとおよそ三十年で迎えることになる。

本書は、アンドロイドと暮らす未来を目前に、人工生命研究者池上とロボット研究者石黒の、如何に心の準備をすればいいのかという対談本としても読めるのだが、問題はその「心」にある。それは、人工知能に「心」を持たせることは可能なのかという問いであつた。この問いは必然、日本近代文学の再考を迫るであろう。日本語の「心」とは、坪内逍遙と二葉亭四迷以降の近代小説によつて生じた言葉であるからだ。また、石黒の指摘するように、「心」が他者によつて発見されるものであるということも、問題の在り処を一〇〇年前に立ち返らせる。

奇しくも漱石没後一〇〇年、『こころ』とともにその語の意味を思考すること、表題の問いの答えが見えるのかもしれない。(涼)

## 『女王さまの夜食カフエ』

マカン・マランふたたび

古内一絵著 中央公論新社・一五〇〇円

都会の路地奥で、昼間はパーティードレスを売り、常連しか来ない深夜カフエ

を営むドラッグケイーン、シャール。都会で心すり減らした人達が偶然にも迷い混み、癒されていく。そんなカフェ「マカン・マラン」を舞台にしたお話の第二弾。

シャールの作る料理はマクロビオティックを基本にしている創作料理で、小説の添え物ではなく、重要な役割をはたしている。蒸しケーキのトライフル、竜田揚げ、トルコライス、冬至の七種うどん。どれも高級料理じゃないけど、体と心を優しくいたわってくれる料理だ。心身にとって食べるのがどんなに大きな役割を持つか、改めて気づかせてくれた。

丸の内OLとは名ばかりで、安い賃金でいつ契約が切られるかわからない派遣社員の真奈。子どもの頃から自分は面白くない、何にもないというコンプレックスを持って生きてきた。会社のお局的存在・美知佳のグループからはみ出さないよう自分を殺して合わせている。SNSで友達を作れるわけがないと思っただけ、孤独が辛く、ついついやってしまっただけ、そんな彼女が偶然迷い込んだマカン・マランで何もない人間なんていない事を教えられ、無理せず自分らしく生きる勇氣をもらう。

優秀な兄と比較されてきた過去に縛り付けられている男、完璧な母でいようと頑張りすぎる女、娘の進路希望が納得できない中年教師。それぞれを抱える問題が、シャールや常連、仲間たちとの出会いで完全にはなくても、前向きに進む気持ちをもたせてもらえる。

たとえ家族でも友達でも価値観は違うし生き方も違う。一緒にいれば人と比べたり、悲観的になりすぎて疲れてしまう人がたくさんいる。もし実際にこんなカフェがあればなあと考えてしまう。(ひ)

### 『負債論 貨幣と暴力の5000年』

D・グレーバー著 酒井隆史監訳

以文社六〇〇〇円

本書が渉猟する五千年の人類誌は、我々の常識に思い込みを粉砕する。

「経済はまず物々交換から始まって、それを容易にするための『特別な商品』として貨幣が誕生した」という経済学の「常識」。鑄造貨幣がまず誕生し、それを代替するものとして仮想通貨が生まれたとする貨幣史の「常識」。実際は、先に登場したのは、信用の証である仮想通貨だった。

それは、人間が他者と共に、様々なものを他者に負つてのみ生きられる存在であるからだ。「社会とは、わたしたちの負債そのもの」なのだ。

その「負債」は、決して完済できるものではなく、また計算できるものではない。それが、仮想通貨が媒介する「人間経済」であった。

戦争と略奪が「商業経済」をもたらし、鑄貨を生み出した。鑄貨は兵士に支払われる貨幣であり、略奪され、集中していく貨幣である。

仮想通貨が一旦回帰する中世を経て、再び鑄貨が主役となる資本主義（商業経済）―暴力―戦争―奴隷制の時代が、アメリカ大陸の「発見」と資源の略奪によって始まる。

そして現代。IT時代を迎え、主役の座は、鑄貨から仮想通貨に移り移ろうとしているかに見える。だが、その根底にあるのは相互信頼、相互扶助の「人間経済」ではなく、暴力・戦争と共にある「商業経済」であり、（返済を強制される）負債の連鎖である。その mismatchこそが資本主義の破綻を招来することを予想させながら、大著は終幕する。(フ)

## 漫画になった文学

## 第7弾

「愛書家の楽園」毎年恒例、「漫画になった文学」フェアを開催いたします。これは、古今東西の文学作品と、そのコミカライズ作品を並べて展開するという趣向のものであります。

今回の第七回フェアでは、サキ『クロロヴィス』、デユマ『モンテ・クリスト』や、クリステイー『ABC殺人事件』、などの欧米の名作から、日本の古典『百人一首』、『雨月物語』、谷崎潤一郎のアンソロジーや池波正太郎の『真田太平記』、伊藤計劃と新海誠をはじめとする現代日本のエンタテインメントまでを扱います。

漫画版を手取るか、原作を手取るか、はたまた両方を読み比べるか、さまざまな楽しみかたができるフェアです。ぜひこの機会にお読みください。

ラス・キック編、金原瑞人訳『大人のためのコミック版世界文学傑作選』(上・下、いそぶ社・一六〇〇円)

世界最古の文学『ギルガメッシュ叙事詩』から『リア王』、『ガリヴァー旅行記』、トルストイの傑作『アンナ・カレーニナ』まで(上巻)、アメリカ文学の金字塔『ハックルベリー・フィンの冒険』から『ジキ

ル博士とハイド氏』、『ユリシイズ』、長らく発禁だった奇書『巨匠とマルガリータ』まで(下巻)各二十三作品収録の世界文学アンソロジー。



『クロロヴィスのクロニクル』

二宮亜子、サキ原作『クロロヴィスのクロニクル』(KADOKAWA・六八〇円)  
サキ、和爾桃子訳『クロロヴィス物語』(白水ブックス・一三〇〇円)

短編の名手が二十世紀初頭に生み出した、皮肉屋で悪戯好きの青年クロロヴィス。辛辣なユーモアと意外性に満ちたその作品群から、六篇を収録。サキのコミカライズは、松本零士、真崎守、上村一夫、川本コオ、辰巳ヨシヒロ『妄想鬼』(奇想天外社、一九七九)以来。

森山絵風漫画、アレクサンドル・デユマ原作『モンテ・クリスト伯爵』(白泉社・

八〇〇円)

アレクサンドル・デュマ、山内義雄訳『モンテ・クリスト伯』(全七巻、岩波文庫・八六〇円)

文豪大デュマの、十九世紀半ばに執筆された代表作のひとつ。邦訳の文庫版では全七巻の長篇を、コミックス一冊、二三〇頁に圧縮。無実の罪で投獄され、脱獄を果たした主人公エドモン・ダンテスがかつての友らに復讐を果たし、養女エデの愛を受け入れるまで。



『ABC殺人事件』

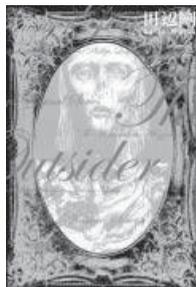
星野泰視<sup>やすし</sup>、アガサ・クリステイー原作『ABC殺人事件』(全四巻、小学館・六〇〇円)

アガサ・クリステイー、堀内静子訳『ABC殺人事件』(ハヤカワ文庫・八〇〇円)  
エルキュール・ポアロもの名作を、原作が発表されたのと同じ一九三六年の

日本に舞台設定を変え、漫画化。また第一巻の冒頭には同シリーズの「厩舎街の殺人」が置かれている。『哲也 雀聖と呼ばれた男』で阿佐田哲也の生涯を描いた星野泰視の筆致が力強い。

田辺剛『闇に這う者——ラヴクラフト傑作集』(KADOKAWA・六八〇円)  
H・P・ラヴクラフト、大瀧啓裕訳『ラヴクラフト全集3』(創元推理文庫・六四〇円)

昨年の『異世界の色彩』、一昨年の『魔犬』に続き、田辺剛によるラヴクラフトのコミカライズは本フェアに三回目の登場。表題作の他「ダゴン」を収録。田辺の手になるラヴクラフトの長篇『狂気の手脈にて』の第一巻もすでに刊行されており、次回取り上げたい。



『The Outsider  
田辺剛 Extra Works』

田辺剛『The Outsider 田辺剛 Extra Works』(KADOKAWA・八〇〇円)  
アントン・チェーホフ、沼野充義訳『新訳 チェーホフ短篇集』(集英社・一六〇〇円)

ラヴクラフトのデビュー作「アウトサイダー」の他、チェーホフ「中二階のある家」、ゴリキー「二十六人の男と一人の少女」、さらに三遊亭円朝「真景累ヶ淵」の一部分など、五篇のコミカライズを収録した、二〇〇七年刊行の同名書の復刻。



『百人一首ノート』

今日マチ子『百人一首ノート』(KADOKAWA・一三〇〇円)

漫画家／イラストレーターの今日マチ子が、小倉百人一首の百首すべてを、一首一ページで、自由な新解釈を加えてコミカライズ。セリフはなく、時代は現代に置き換えられているが、余韻の残る見

事な作品。元歌の解題も収められており、あわせて楽しめる一冊。

上田秋成原作、武富健治漫画『雨月物語』  
(PHP研究所・一六〇〇円)

池澤夏樹編『日本文学全集』一 好色一代男／雨月物語／通言総籙／春色梅児誉美』(河出書房新社・三〇〇〇円)

『鈴木先生』で知られる漫画家の武富健治が、『雨月物語』から「白峯」、「菊花の約」、「浅茅が宿」、「夢応の鯉魚」、「仏法僧」、「吉備津の釜」、「蛇性の姪」、「青頭巾」、「貧福論」の九篇をコミカライズ。なお『雨月物語』は水木しげる、木原敏江らによる漫画化もある。



『谷崎万華鏡』

山口晃、しりあがり寿、高野文子、榎本俊二、中村明日美子、今日マチ子、山田参助、近藤聡乃、西村ツチカ、古屋兎

丸、久世番子『谷崎万華鏡』(中央公論新社・一〇〇〇円)

谷崎潤一郎『谷崎潤一郎全集 第一巻』(中央公論新社・六八〇〇円)

漫画化したのは執筆者名順に「台所太平記」、「瘋癲老人日記」、「陰翳礼讃」、「塚氏の話」、「統統蘿洞先生」、「痴人の愛」、「颯風」、「夢の浮橋」、「人間が猿になった話」、「少年」、「神童」。それぞれの書き手が自らの持ち味を生かした、優れたコミカライズアンソロジーである。

池波正太郎原作、細川忠孝漫画『真田太平記』(既刊六、朝日新聞出版・六〇〇円)  
池波正太郎『真田太平記』(全十二巻、新潮文庫・七五〇円)

大河ドラマ「真田丸」が話題を呼んだ二〇一六年は、池波正太郎のつとに知られた名作『真田太平記』のコミカライズが刊行された年でもある。手がけたのは、宮下英樹の漫画『センゴク』のスピントフ小説である東郷隆『センゴク兄弟』の漫画化作品もある細川忠孝。

東野圭吾原作、菊地昭夫作画『疾風ロンド』(実業之日本社・六四八円)

東野圭吾『疾風ロンド』(実業之日本社文庫・六四八円)

二〇一六年十一月末の映画公開にあわせ、コミカライズされた一冊。研究所から盗まれた生物兵器の行方を追うサスペンス。作画を担当した菊地昭夫は過去に、大崎善生原作のノンフィクション『将棋の子』、宮部みゆきの時代小説『ほんくら』の漫画化も手がけている。



『疾風ロンド』

木皿泉原作、渡辺ペコ作画『昨夜のカレー、明日のパン』(幻冬舎コミックス・六八〇円)

木皿泉『昨夜のカレー、明日のパン』(河出文庫・六〇〇円)

本屋大賞第二位を獲得した脚本家ユニット木皿泉の処女小説。夫と死別して義父と二人暮らしのテツコ、その隣人で元CAの小田さんらの日常を、視点を変

えながら描く。なお、渡辺ベコの初めてのコミックスは、金原ひとみの芥川賞受賞『蛇にピアス』の漫画化。



『屍者の帝国』

伊藤計劃×円城塔／Project Itoh 原作、樋野友行作画『屍者の帝国』（全三巻、KADOKAWA・各六二〇円）

伊藤計劃、円城塔『屍者の帝国』（河出文庫・七八〇円）

早世した伊藤の草稿を、友人である円城が引き継いで完成させた長篇。死体を蘇生させる技術が普及した十九世紀を舞台とするSFで、主人公のワトソン博士をはじめ、著名なフィクションのキャラクターが数多く登場する。漫画版は他の著作とともに劇場アニメ版などを製作する『Project Itoh』の一環として、二〇一六年二、六、十一月に全三巻で刊行された。



『ハーモニー』

伊藤計劃／Project Itoh 原作、三巷文漫画『ハーモニー』（既刊二、KADOKAWA・六〇〇円）

伊藤計劃『ハーモニー』（ハヤカワ文庫JA・七二〇円）

二〇〇八年に刊行され、星雲賞、日本SF大賞などを受賞した長篇。十三年前に自死した少女ミアハの死の謎、世界各地で同時刻に発生した自殺事件の謎を、ミアハの友人だった螺旋検察官トアンが追う、近未来SF。こちらも『Project Itoh』の一環としてコミカライズ。

伊藤計劃／Project Itoh 原作、麻生我等漫画『虐殺器官』（既刊一、KADOKAWA・五八〇円）

伊藤計劃『虐殺器官』（ハヤカワ文庫JA・七二〇円）

二〇〇七年に刊行された、伊藤計劃の

デビュー作。アメリカ情報軍のシェパード大尉らが、暗殺を目的にブラハに潜入するところから物語は始まる。本作も『Project Itoh』の一環として漫画化された。アメリカでの実写映画化も決定している。監督はバク・チャヌク。



『虐殺器官』

新海誠原作、琴音らんまる漫画『君の名は。』（既刊二、KADOKAWA・五五〇円）

新海誠『小説 君の名は。』（角川文庫・五六〇円）

『もののけ姫』、『ハウルの動く城』を抜き、『千と千尋の神隠し』に次ぐ邦画歴代興行収入第二位となった、二〇一六年最大の話題作の新海誠監督自身による小説版と、そのコミカライズ。田舎町の女子高生・三葉と、東京の男子高校生・隼の心身の入れ替わりの物語。

新海誠原作、清家雪子漫画『秒速五センチメートル』（全二巻、講談社・五六二円）  
新海誠『小説 秒速五センチメートル』（角川文庫・五二〇円）

小学生のときに恋した相手を思い続ける遠野貴樹と篠原明里を中心に、彼らの恋愛と成長を描く。アニメ映画は二〇〇七年春公開、小説版は二〇〇七年秋刊行（二〇一六年に文庫化）、コミック版は二〇一〇〜一一年の刊行だが、それぞれに少しずつストーリー展開が異なる。



『秒速五センチメートル』

なお、昨年の第六回から今回の第七回開催までの期間には、本フェアで取り上げた作品のほか、以下のようなコミカルな作品も刊行されています（一部であり、網羅性はありません）。ご興味を持たれた作品があれば、フェア展開作品とあわせてお読みいただければ幸いです。

和田竜原作・吉田史朗漫画『村上海賊の娘』（小学館）

山田風太郎原作・せがわまさき漫画『十忍法魔界転生』（講談社）

ヴィクトル・ユーゴー原作・新井隆広漫画『LES MISÉRABLES』（小学館）

ジュール・ヴェルヌ原作・倉園紀彦『地底旅行』（KADOKAWA）

京極夏彦原作・志水アキ作画『絡新婦の理』（角川書店）

百田尚樹原作・須本壮一作画『海賊とよばれた男』（講談社）

有川浩原作・弓きいろ『図書館戦争 LOVE&WAR 別冊編』（白泉社）

安部龍太郎原作・藤原芳秀作画『葉隠物語』（リイド社）

西尾維新原作・光谷理漫画『悲鳴伝』（講談社）

三浦しをん原作・西田番作画『むかしのはなし』（幻冬舎）

有川浩原作・堤翔『植物図鑑』（白泉社）  
柳広司原作・仁藤すばる漫画『ジョーカー・ゲーム』（マッグガーデン）

菅野文（ウィリアム・シェイクスピア原作）『薔薇王の葬列』（秋田書店）

江戸川乱歩原案・乱歩奇譚倶楽部原作・

上江洲誠監修・黒山メッキ『乱歩奇譚』（光文社）

米澤穂信原作・佐藤夕子漫画『折れた竜骨』（KADOKAWA）

江戸川乱歩原作・薫原好江漫画・平井憲太郎協力『乱歩アナザー 明智小五郎狂詩曲』（KADOKAWA）

江戸川乱歩原作・nakedape 漫画『孤島の鬼』（講談社）

佐々大河（イザベラ・バード原作）『ふしぎの国のバード』（KADOKAWA）

田辺剛『ラウクラフト傑作集 狂気の山脈にて』（KADOKAWA）

山田太一原作・新井英樹『空也上人がいた』（小学館）

（作品社・青木誠也）

\*全二巻以上の作品は、第一巻のみの定価を記しました。

\*愛書家の楽園・特集『漫画になった文学 第7弾』で紹介した書籍は、ジュンク堂書店池袋本店一階エレベータ前と福岡店三階、丸善名古屋本店一階と京都本店地下二階にて、一月十日〜二月九日までフェア展開中です。



# 後悔しない 選択のために

いよいよ年が明け、二〇一七年がスタートしました。新たな年の幕開けです。思い返せば、昨年も様々なことがありました。記憶に新しいのは、アメリカの大統領選挙でしょうか。大勢の予想に反し、共和党のトランプ候補が当選、今月には新大統領が誕生します。

また、二〇一六年はエンタメ業界が盛り上がった年でもありました。大ヒットを記録した映画「シン・ゴジラ」や「君の名は。」、全世界で五億ダウンロードを記録したスマートフォンアプリ「ポケモンGO」など、社会現象を巻き起こすコンテンツが数多く登場しました。

至極当然のことですが、これらの現象は、私たちが「選ぶ」ことで起こっています。より信頼できる人を選挙で選び、自らが観たいと思う映画を選び、遊びたいと思うアプリを選ぶ。同じ選択肢をより多くの人が選択することによって、社会全体を巻き込むムーブメントが起こるのです。

今日の夕飯は何にするのか。結婚相手はこの人でいいのか。少し高価なバッグだけど買ってしまうか。就職先はこの会社でいいのか。些細なことから、人生

を左右しかねない大きなものまで、私たちは日々選択を繰り返し、生きています。

私たちの選択や選択肢の幅は、基本的には誰に干渉されるわけでもなく、自由です。そして、自由であるということは、その選択に一定の責任がつきまとう、ということも意味します。同時に、何かを選ぶ、すなわち選択したもの以外の可能性を捨てる、そういった苦痛が存在することも事実です。自由であるがために、そして、より多くの選択肢が存在し得る現代であるがために、もしかすると、私たちが行う「選ぶ」という行為は、以前よりも一層難しく、ストレスを与えるものになっていくのかもしれない。

残酷な問いですが、改めて考えたいことがあります。「あなたは責任ある選択を行えていますか」「あなたは後悔しないよう、考えて選択を行っていますか」。選択肢が膨大に存在する現代、今一度、胸に手を当ててこの問いに向き合う機会が欲しいと考えました。

ジュンク堂書店名古屋栄店では、「後悔しない選択のために」と題し、私たちの選択のあり方について考えるフェアを開催致します。

## 誰かを選ぶ。人を選ぶ。

「人を選ぶ」というと、嫌な意味合いを考えがちですが、私たちは往々にして、誰かを選ばなければならない場面に直面します。それは、もしかすると自分の人生に大きく関わる誰かかもしれないし、自分の環境を変えてくれる誰かかもしれないません。そのような場面において、私たちは何を基準に、誰を選ばよいいのでしょうか。信頼できる誰かを選ぶために、私たちに必要なものは何でしょうか。

松田馨『残念な政治家を選ばない技術』（光文社新書・七四〇円）には、選挙で投票する際に考えたいこと、最低限知っておきたい知識が詰まっています。今更人に聞けない基本的な知識から、選挙の裏話まで記され、私たちが選挙に向き合う姿勢をきつと新たにしてくれます。特に、政治なんて難しい、誰に投票してもきつと同じだと、選挙に行くこと自体を億劫に感じる方には、ぜひ読んでいただきたい一冊です。

松浦弥太郎『僕の好きな男のタイプ』（講談社・一三〇〇円）は、「暮しの手帖」編集長松浦弥太郎さんが、男性から見た好きな男性のタイプを書き綴った一冊で

す。「お金をきれいに使う男」「照れない男」「最低で最高な男」など様々な視点から綴られる、五十八通りの「おとこまえ」な男性像は、決して古臭い価値観ではなく、共感できるような男性像ばかりです。女性にとっては、パートナーを選び、判断する視点を養うため、男性にとつては、真の「おとこまえ」な男を目指すため、役立てたい一冊です。



『僕好きな男のタイプ』

平山瑞穂『遠すぎた輝き、今ここを照らす光』（新潮文庫・五九〇円）では、夏輝と光平、反発し合う二人の男女が、互いを選ぶようになるまでが描かれています。二人の葛藤や傷は多くの人々がきつと抱えているもので、彼らの中にくすぶる小さな苦しみ、悶えのようなものはきつと誰しも共感できる部分があるはず。そうであるからこそ、二人の行動、

心の動き一つ一つに至るまで、もどかしくも、読者としてそつと背中を押してあげたくなる気持ちになるのでしょう。

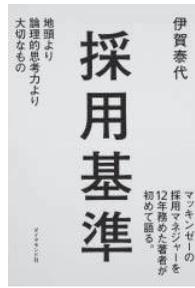
私たちが抱く「あの人は嫌いだ」「この人は苦手だ」という思いは、もしかすると嫉妬や羨望といった単純な感情の裏返しであるのかもしれない。そのような単純な感情で、付き合う人の幅、選択肢を狭めてしまつては、何だかもつたいたいような気さえしてきます。読後は、温かな幸福感に包まれ、タイトルの意味を考えたくなる一冊です。



『遠すぎた輝き、今ここを照らす光』

伊賀泰代『採用基準』（ダイヤモンド社・一五〇〇円）には、本当に優秀な人材とはどのような人材であるのかが簡潔にまとめられています。採用におけるグローバルスタンダードを目の当たりにし、しかかすると戸惑うかもしれませぬ。しか

と同時に、これから先の社会において、自分を選んでもらうためには何が重要であるのか、価値ある人材であるために私たちは何を養えばよいのかが分かりやすく明示されています。これから社会を生き抜くうえで指針にしたい一冊です。



『採用基準』

どのように働くか考える。  
働き方を選ぶ。

現代は、以前と比べて、様々な働き方を自ら選ぶことができるようになりました。かつての終身雇用制は徐々に崩れつつあり、反対に、企業としては、「個人の人生の、全ての責任を負うことは重い時代」になったともいえます。働き方の選択肢が増えたことによって、私たちは自分自身のキャリアプランについて、以前よりも多くの可能性を考えなくてはな

らなくなりました。後悔しない働き方を選択するためには、私たちはどのような可能性を考え、どういった選択を行うべきなのでしょう。

日本経済新聞社編『働き方NEXT選ぶのはあなた』（日本経済新聞出版社・一五〇〇円）は、日本経済新聞の一面連載を書籍化したものです。様々な企業、多くの事例が紹介されています。現代の働き方の選択肢がこれだけ多様化しているのか、と再認識させられるとともに、そこで働く人々の、前向きに課題を解決しようとする姿勢に、きつと学ぶものがたくさんあるはず。たくさんの方々がぎゅつと詰まった一冊ですが、もちろんその中から、またはそれ以外の中から、まさしく選ぶのはあなたです。



『働きかたNEXT  
選ぶのはあなた』

ポブ・トビン『10年後、後悔しないた

めの自分の道の選び方』（ディスカヴァー・トゥエンティワン・一五〇〇円）は、タイトル通りの、十年後に後悔しないために、どのような決断をしたらよいか記した一冊です。慶應義塾大学の名誉教授で、経営コンサルタントである著者が出会った、たくさんの人々の実際の事例をもとに、自分自身の人生を選び取る心構えを説いています。

著者の言葉は、働き方や生き方に行き詰まり、大きな決断を前に、立ち止まっている私たちの背中をそつと押してくれます。それとともに、不安との向き合い方、自信のつけ方など、すぐにでも実践したくなる内容が盛り沢山です。

岡田康子『自分で決める、自分で選ぶ』（東峰書房・一四〇〇円）は、特に、女性のキャリアデザインの描き方を記しています。男性にとつても、これからの働き方を考えるうえで参考になる本です。「あなたがしている仕事は十年後にありますか？」「あなたのスキルは将来も通用しますか？」といった、著者が迫るシリアスな問いは、読み進める中で、私たち自身のキャリアの棚卸ができるとともに、人生を改めて見つめ直す手助けを

してくれれます。今一度、働くことの意味について、真剣に考えたくなる一冊です。

### 買うものを選ぶ。

### お金をかけるものを考える。

現代は様々な商品が流通しています。それは、有形のものもあれば無形のものもあります。世の中に流通する商品が、一体どの程度の量であるのかは計り知れませんが、確実に言えるのは、以前と比べ、そのバリエーションは格段に増えたという事です。道徳的にどうあれ、お金を払えば子どもたちの夏休みの宿題もやってもらえますし、恋人だつてレンタルできます。もはやお金で買えないものは、ごくわずかしかなかったりしません。

このように、多種多様な商品が溢れかえる現代において、私たちはどのように買うものを選び、何にお金をかければよいのでしょうか。

マイケル・サンデル『それをお金で買いますか』（ハヤカワ文庫・八〇〇円）は、市場主義社会である状態になりつつあるアメリカの、具体的な事例をもとに、道徳的観点から市場主義に批判を行っている事。日本ではまだ見られないような事

例もたくさんありますが、これから先、市場主義信仰がより進んでしまつたら、似たようなことが起こるのかもしれないと考えさせられます。金銭のやり取りについて、時たま感じる、倫理的に「何かが違う」という感覚に分かりやすく考察を加える一冊です。



『なぜ、日本人は考えずにモノを買いたいのか?』

松下東子・日戸浩之・林裕之「なぜ、日本人は考えずにモノを買いたいのか?」(東洋経済新報社・一六〇〇円)には、現代の日本人の消費行動が分かりやすくまとめられています。特に「情報が多すぎて判断できない」という結果は多くの方が共感できるのではないのでしょうか。だからこそ私たちは、自分の希望にあった商品だけを勧めてほしいと願ひ、「あなたへのおすすすめ」の中からしか商品を選ばなくなっているのかもしれない。

このように、たくさんさんの選択肢の中から、自分で何かを選び取ることはますますハードルが高くなっているようです。だからこそ、その労力から逃げずに選択を行う必要が、私たちにはあるのかもしれない。 「ものが売れない時代」を如実に表しているように感じられる一冊です。

### 後悔しない選択のために

ここまで、誰を選び、どのように働き、何にお金をかけるのかを考えてきました。最後は、私たちが行う選択の意味や、そのあり方について考えたいと思います。

これから先もずっと続いていくであろう数々の選択。自らの人生をより豊かにしていくために、後悔をしないために私たちは何を考え、何を知ればよいのでしょうか。

宮部みゆき『レイブ・ストーリー』(角川文庫・上巻六六七円、中巻七六〇円、下巻七〇五円)は、特に、主人公巨の最後の選択に心を打たれる物語です。自らの不運を受け入れ、立ち向かっていく勇氣を、果たして私たちは持つことができるといえるでしょうか。自分の運命を自分で変えていく覚悟を持てるのか、そういった選

扱ができるのか。読者としては感動しますが、自分に置き換えてみると、深く考えさせられる一冊です。

村上龍『自由とは、選び取ること』（青春新書・八三八円）には、普段私たちが抱える悩みがたくさん詰まっています。それに対して作家の村上龍さんが丁寧に答えていきます。一見、村上さんの語り口はとても冷たく、突き放すように感じられますが、そこには作家ならではの温かみを感じられます。執拗に優しい言葉をかけ、無責任な励ましをするのではなく、分らないものは分らない、違うものは違うと、相談者のことを考え、はっきりと断言する姿勢が、きつと私たちにそう感じさせるのでしょう。共感できる悩みが、そしてそれを打破するヒントが必ず隠されている。そんな希望をもって読める一冊です。

バカリズム『小説素敵な選TAXI』（ポプラ文庫・七八〇円）は、お笑いタレントのバカリズムさんが脚本を担当し、二〇一四年に放送されたドラマのノベライズ本です。ドラマをご覧になった方はもちろんのこと、ご覧にならなかった方も、読むとドラマの映像が目に浮か

んできます。

タイトルの通り、様々な主人公が、やり直したい過去まで選TAXIに乗って戻り、別の選択肢を選びながら理想の未来を掴み取っていく物語です。しかし、選択肢を選び直したとして、それが必ず良い方向に向かうとは限りません。たくさん選択肢を前に、どのような選び方をすれば後悔しなくて済むのか、考えながら読みたい一冊です。



『小説素敵な選TAXI』

シーナ・アイエンガー『選択の科学』（文春文庫・八〇〇円）では、選択という行為の持つ可能性について考察されています。選択という行為は、確かに行う際に一定の苦痛を伴います。しかし、生物とは元来、自分の人生を自分のコントロール下に置きたい、自己決定感を得たいものであることもまた著者の研究で明らか

にされています。

そうであるならば、その苦痛を乗り越えた先に、私たちの行う選択の、本当の意味が見えてくるのかもしれませんが。自分の人生を選び取るために、自分の行う選択の可能性を信じるために、今一度立ち止まって読みたい一冊です。



『選択の科学』

このフェアは、ジュンク堂書店名古屋栄店の地下一階にて開催致します。何かを選ぶ際、何かを選ぶばかりではならない、立ち止まって、ゆつくりと考えるきっかけになればなら、これほどに嬉しいこととはありません。

（ジュンク堂名古屋栄店・加藤）

今月の  
おすすめ

社会科学

大統領を操るバンカーたち 上・下

ノミ・プリンス著

ゴールドマン・サックスの勤務経験を持つジャーナリストによる、アメリカの歴代大統領たちとウォール街の銀行家たちの関係を一〇〇年にわたり追跡した大著である。アメリカの大銀行が民主主義国家のアメリカにおいて特権的な立場で政策に介入し続けてきたことを伝えている。そこから見えるのは二〇〇八年の金融危機が持つ一九二九年の世界大恐慌との共通性だという。ウォール街の隠された一面を抉り出そうとする書。

早川書房

各二七〇〇円

シリア難民

パトリック・キングズレー著

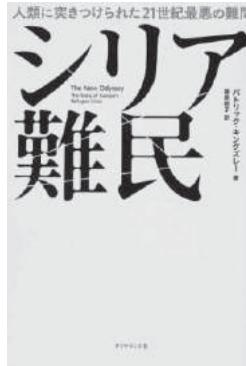
著者はイギリスの新聞記者で、移民問題を専門に活動している。本書では、紛争の続くシリアを逃れたある家族の物語を中心に、著者が取材した様々な難民の

姿をまとめたものである。

地中海ルート、サハラ砂漠ルート、ヨーロッパ縦断ルート、この三つが難民たちの移動経路で、いずれも苛酷な旅程であることが解説されている。タイトルはシリア難民だが、例えばアフリカ諸国からの経済移民やアフガニスタン難民等についても書いてあり、非常に幅広い内容で、三大陸十七か国を行脚した、重厚な一冊になっている。

ダイヤモンド社

二〇〇〇円



ミクロ動機とマクロ行動

トーマス・シエリング著

本書はゲーム理論の大家、シエリング教授の名著『紛争の戦略』（勁草書房・三八〇〇円）と並ぶ代表作であり、こちらも古典といつて良いほど影響力のある

一冊である。

個人の合理的な行動とマクロの結果は必ずしも一致しないことを「住み分けモデル」を例示しながら説明する。一見すると矛盾しているようなミクロ・マクロの関係をゲーム理論的な相互作用を考慮しながら説明を可能とした。経済学的にはやや難解な部類に入るが、扱われる事象は前掲書よりも一般的なものであり、入門としても最適。

勁草書房

二七〇〇円

犯罪はなぜくり返されるのか

藤本哲也著

著者は矯正協会会長などを歴任した犯罪学の専門家。本書は出版元の広報誌連載を加筆修正したもの。著者の半生を振り返りながら、犯罪学を紹介し、刑事政策の学問の系譜と発展をまとめている。再犯防止の取り組みやストーカー規制法などの法改正についても言及されている。また、犯罪者の更生の問題、さらには刑務所にPFI（民間資金やノウハウ活用）制度を導入している海外の事例紹介と、テーマは多岐にわたる。犯罪に学問で立ち向かう姿が浮かび上がる。

ミネルヴァ書房

三〇〇〇円

### あなたにいちばん似合う街

三浦 展著

ベストセラー『下流社会』(光文社新書・七八〇円)で知られる著者が、首都圏の住みたい街をランキング形式で分析した内容。

膨大なアンケートをもとに様々な切り口から解説しているのだが、なるほどと感心させられる点が本当に多い。住む街が変わればライフスタイルも変わり、人生も変わると思わされた。年取別や、既婚か一人暮らしか、あるいは正規労働者か非正規かなど、それぞれに特徴があるのがよくわかる。巻末には著者による、リアルで役立つ街ガイド付き。

PHP研究所

一三〇〇円

### 奇跡の醤かじお

竹内早希子著

本書は、岩手県陸前高

田市にある二百年以上続く老舗の醤油蔵八木澤商店の苦闘を追いかけたものである。東日本大震災の津波で、蔵や店舗、醤油屋の命であるもろみが流された。社員で亡くなった方もいる。まさに全てを失った状況だったが、残された社長をはじめ従業員の方々は諦めなかった。研究資料として保管されていたもろみがたまたま無事だったこともあり、伝統の味を蘇らせることに成功する。震災からもうすぐ六年、陸前高田の町も八木澤商店という企業も、まだ復活の道なればだが、本書を読んで明るい希望の光を感じられた。

祥伝社

一七〇〇円

### MUJII式

世界で愛されるマーケティング

増田明子著

MUJII (無印良品)の

商品は、シンプルで普通だからこそ、どのような場においても馴染み、そして世界中で愛される。MUJIIの強みは、特徴がなく、脇役として活きる商品であるところにある。個性の一步手前で止め、ターゲットを特定の層に絞らないこと

が、より大きな市場で顧客を創造することにつながる。MUJIIに約十年間携わった著者が、マーケティング視点を変えて、MUJIIの不思議な魅力を紹介する一冊。

日経BP社

一五〇〇円

### 生産性

伊賀泰代著

著者は元マッキンゼーの

人材育成マネジャー。長時間労働が問題視され、働き方改革が叫ばれる中で避けて通れないのが、諸外国に比べ著しく低いホワイトカラーの生産性の向上である。生産性を上げるといのは自明のことに見えるが、冒頭の採用活動の例を読むだけでも、実際は違う価値判断によって仕事の評価されがちであることを痛感させられる。個人のスキル向上も必要だが、そもその目標や評価軸がずれていては意味がないのだ。

個人の生産性を上げるビジネススキル

本は多数あるが、生産性そのものを真正面から論じるビジネス書は少ない。日本企業に一番欠けているところを突いた一冊だろう。多くの人に読んでほしい。

ダイヤモンド社

一六〇〇円

**今月の  
おすすめ**

**コンピュータ**

**人工知能の作り方**

「おもしろい」ゲームAIは  
いかにして動くのか

三宅陽一郎著 著者はゲームAI開発の第一人者。レトロゲームから最新のビッグタイトルまで、ゲームに搭載された様々な人工知能を紹介する。意思決定アルゴリズムや群衆AIによって息を吹き込まれるキャラクターたちのどのような振る舞いに、プレイヤーは知性を見出すのか。それは「知能とは何か」という問いを考えることでもある。

技術評論社

二四八〇円



**データを集める技術**

最速で作るスクレイピング&クローラー

佐々木拓郎著

スクレイピングとクローラーはWebサイトを巡回してデータ収集するツールのこと。前著『Rubyによるクローラー開発技法』(二九八〇円)よりも一般向けを意識し、既存のアプリの組み合わせやExcel/VBAでの簡単なプログラミングなど、手軽に行えるデータ収集に焦点を当てている。

SBクリエイティブ 二四〇〇円

**実践 Appium**

Manoj Hans 著

太田健一郎監訳 児島 修訳

Appium は画面操作のテストを自動化できる、モバイル向けテストツール。Webアプリ用テストツールのデファクトスタンダード Selenium をベースに作られた。Android と iOS の両方に対応し、テスト用コードを加える必要がないのでリリース版と同じ仕様でテストできる。和書としては初の解説書であり、モバイルアプリ開発者には必携の一冊といえるだろう。

オライリー・ジャパン 二四〇〇円

**Windows/Mac/UNIX**

すべてで20年動く

プログラムはどう書くべきか

松浦智之著 USP 研究所監修

Windows10 に Bash シェルが搭載されたことで、シェルスクリプトで書いたプログラムがほぼすべてのPCで動くようになった。本書では各種UNIXの互換性を保つ規格である POSIX に沿ってシェルスクリプトを書くことを推奨。移植や急な仕様変更にも強いプログラミングを提案している。

C & R 研究所

三六〇〇円

**その理屈、証明できますか？**

Daniel J. Velleman 著 神林 靖訳

命題論理や述語論理、数学的帰納法についてどのように証明を進めるかを解説。というと数学書にしか聞こえないが、数学的証明はコンピュータ科学を学ぶ者にとっても欠かせないスキル。問題をいくつにも分解して妥当性の確認を再帰的に繰り返すという、構造化プログラミングにも通ずる方法として、数学的な証明技法について学ぶことができる。

翔泳社

二八〇〇円

今月の  
おすすめ

自然科学

見る目が変わる

博物館の楽しみ方

地球・生物・人類を知る

矢野興一編著

「博物館」と聞いて、なにを思い浮かべるだろうか？ 恐竜の化石、鉱物、生命の進化、地球の成り立ち……ほかにも出てくるだろう。これらを展示している「博物館」の裏側をのぞいてみよう。

本書は博物館に展示されている様々な展示物が、どのように発見されて展示されるかが書かれている。

例えば、恐竜の化石。発掘してすぐに展示なのではない。まず発掘する国を決めて調査、発掘。発掘した化石を保護して研究室へ持ち帰り、クリーニング作業……といろんな工程を経て、展示されている。ほかの展示物にも、それぞれいろいろな工程があるのだ。

本書は九つの章にわかれており、博物館の歴史から始まり、鉱物・隕石、菌類、

植物、昆虫、など様々な展示物が紹介されている。このような裏側を知れば、博物館がもっと楽しく思えるかもしれない。

ベレ出版

二八〇〇円



カフェインの真実

マリリー・カーペンター著

元来は植物が昆虫から身を守るために生成しているアルカロイドの一種。服用した者の中枢神経を刺激し、その強心作用と覚醒作用が眠気や倦怠感を一時的に抑えてくれるため、仕事で忙しい時などはつい欲しくなる。一方で身体的依存を生み出し、常用を中止すると頭痛や集力の欠如など禁断症状を引き起こす。

こう書くと違法薬物みたいだが、お茶やコーヒーにも含まれている身近な成分「カフェイン」の話である。本書は日々摂

取る機会が多いにもかかわらず、その効能についてあまり考えられていなかった「カフェイン」を深く掘り下げたものである。摂りすぎはよくないし、飲み方次第で死ぬこともある。長所と短所を正しく把握して、うまく付き合っていくと提言しているのが本書のスタンスだ。

白揚社

二五〇〇円

マンガでわかる技術英語

坂本真樹著

意外と少なかったこの分野の入門書が出た。超基本のS+V（主語+動詞）の説明から入っているのだが、技術英文の特徴を掴むにも、この超基本が重要なようで、初めからこの本に沿って勉強していけば、かなり専門的な文章も読めそう、書けそうである。

また、マンガ以外の部分でも図表が的確に使われていて読みやすい。技術論文というのは、大学入試問題並みに長いものが多いようだが、そのあたりの克服の仕方もある出ていて興味深く、結局はきちんとした日本語力もつければね、とも思われる一冊だ。

オーム社

二三〇〇円

今月の  
おすすめ

医学書

上部消化管

内視鏡診断<sup>①</sup>ノート

野中康一・濱本英剛・  
田沼徳真・市原 真著

著者自身がこれまで十年かけて収集し  
学び得た確かな情報がぎゅっと詰まった  
マル秘ノートが本書のベースとなってい  
る。モテる（＝信頼される）という言葉  
が重要なキーワードであり、若手の医師  
に伝わりやすいよう軽快な口調で説明し  
ている。また多くの画像とともに雑誌「胃  
と腸」に掲載された論文をQRコードで  
紹介。さらに本書購入者限定で見ること  
が出来るWeb袋とじ付き。忙しい若手  
内視鏡医必携の一冊となっている。

医学書院

四五〇〇円

ドレインは語る

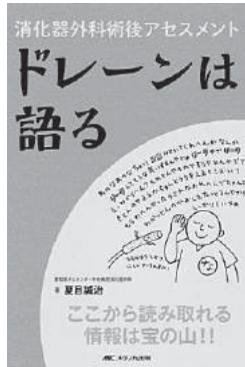
夏目誠治著

ドレイン管理は、管を留置して血液・膿・  
滲出液・消化液を体外に排出するドレナ―

ジを行う外科診療科での重要な業務の一  
つ。ドレインを知り、患者を観察し、ドレー  
ンが挿入された患者の対応ができるよう、  
ドレイン管理の実際を消化器外科医であ  
る著者が何よりもわかりやすく、ドレー  
ン道々を紹介する。看護師が求められる  
役割を把握し、知識を深めておくことは  
大切である。消化器病棟看護師必携の書  
としてお勧めしたい一冊。

メディカ出版

二七〇〇円



イラストと語呂で楽しく学ぶ解剖学  
神経インパクト

原田 晃著

イラストで楽しく学べる好評のインパ  
クトシリーズ。『マッスル』『ボーン』『徒  
手検査』『経穴』に続く第五弾。

医療系国家試験に必須の知識、解剖学。

複雑で難解なため苦手な人は多いが、文  
章ではなく画像でイメージすると覚えや  
すくなる。今回は特にややこしい神経系  
を、最低限覚えておかなければならない  
内容に絞って細かく分類し、簡潔にまと  
めた。要所にはオリジナルの「ゴロ寝で  
覚える語呂合わせ」ページ付き。

医道の日本社

一五〇〇円

地域福祉の弱みと強み

菊池まゆみ著

ひきこもり者支援の取り組みが成果を  
出していることで全国から注目されてい  
る秋田県藤里町社会福祉協議会。地域社  
会で活躍できる場を創りあげ、町民一人  
一人の自己実現を応援する地域福祉を展  
開している。弱者のみを支援の対象とす  
る発想を捉えなおし、藤里方式として実  
践を積み重ねてきた著者が、組織づくり  
や人材育成に関する取り組み事例を実践  
的に具体的に紹介する。今までの福祉の  
常識の枠を抜け、秋田の小さな町が示し  
た福祉が本来あるべき姿。新たな「〇〇  
方式」が全国で花開くことを願いつつ、  
「菊池まゆみ」は止まらない。

全国社会福祉協議会

一二〇〇円

今月の  
おすすめ

人文科学

はらわたが煮えくりかえる

情動の身体知覚説

ジェシー・プリンツ著 源河 亨訳

感情と身体反応をテーマにした、印象的な表紙が目を引く一冊。著者は本書を「情動研究のリストに新たなものを追加する」ものであるとしており、人間の感情・情動研究において主流ではないとされている身体反応に重きを置いた理論を主として、従来の情動研究を包括的に学ぶことのできる一冊。

勁草書房

四〇〇〇円



仏教はどうやって生き残ったのか？

藤本 晃著

パリ語聖典に基づき、日本仏教に到るまでのお釈迦様の仏教の壮大な歴史を辿る「日本仏教は仏教なのか？」シリーズ第二巻。

本書ではまず、比丘サンガの和合と分裂について律蔵の記述を参照しながら解説している。また、仏滅によって聖典の散逸という危機に直面するなかでサンガはどのように聖典をまとめたのか。仏教史がより詳細にわかる一冊となっている。

サンガ

二二〇〇円

哲学する子どもたち

バカロレアの国フランスの教育事情

中島さおり著

アクティブラーニングやバカロレアなどが注目され、「自ら考える」ことに焦点が置かれている昨今の教育現場。そのバカロレアが実施されているフランスの教育事情に、学校に通う子どもと親との双方の視点から触れることができる一冊。フランス教育の基礎知識もピクックアップして取り上げられており、日仏の教育問題を考える上でも役立つ。

河出書房新社

一六〇〇円

負債論 貨幣と暴力の5000年

デヴィッド・グレーバー著

リーマンショック後に起こったオキユバイ運動の理論的支柱の一人であった人類学者デヴィッド・グレーバー。まさにその時期アメリカで刊行されたベストセラーとなり、一躍彼の名を有名にしたのが本書である。私達を苦しめる負債の正体が、古今東西の人文知を集結し論じられている。我々のモラルに満ちた社会は何故暴力と搾取の渦に引き込まれてしまっているのか、現代の経済活動の実態を思い知らされる。閉塞を打ち破る一冊。

以文社

六〇〇〇円

平城京のごみ図鑑

奈良文化財研究所監修

平城京の遺跡から発見されたごみと思われる考古資料から、奈良時代の人々の暮らしを解き明かす「本で楽しむ博物館」。オールカラーで写真や図も多くわかりやすいが、奈良文化財研究所「奈文研」監修なので内容はお墨付きである。

河出書房新社

一六〇〇円

今月の
おすすめ

## 文学・文芸

なんでわざわざ

中年体育

角田光代著

運動嫌いの著者による、運動エッセイ。マラソン・登山・ボルタリング・ヨガと、若い友人・知人、仕事仲間と共に様々な運動に日々、励んでいる著者。運動を始めるきっかけは、人それぞれ。階段の上り下りがきつい（体力の低下を実感）、去年買った服が入らない（腹部の脂肪がおちない）など。中年ともなると、かなり切実なものがある。著者もまさにそうなのだが、初めて挑戦するものもあり、専門家のアドバイスを受けるも、頭で理解するも、体はついていかず、四苦八苦。だが、できないことにクヨクヨせず、目的の為というより、やり通すことを目標に、がんばり過ぎず、楽しんでやっている。そう、運動後の飲み会を楽しみにがんばっているのである。せつかく消費したカロリーの倍返しになってもいい。

のだそうだ。

それでもうひとつ、続けられているのは、続けていれば、できなかったことが、できるようになる。ことに気付くことができたから。今日もこれからもがんばれるのである。読んでいるこちらも、走ってみようかななどと思えてくる。今から始めても、遅くない。と勇気をもらった。中年の皆さんにオススメしたいエッセイ。ぜひ、巻末の「中年体育心得八ヶ条」を参考にして下さい！

文藝春秋

一四〇〇円

## 指鬘物語

田口ランディ著

著者初の掌編小説。著者がなぜ指をめぐる掌編を書こうと思ったのか、あとがきに書いているのだが理由（視点）がすごい。

生と死、いじめや介護、悪徳商法や信仰、放射線など日常の中にある問題もテーマにしつつ、その中で生きる凄さや愛情がぎゅっと書かれている。

一日一編ずつじっくり読み、その日のとっておきの一文（ことば）を見つけるのも良いのではないだろうか。そして何

よりこの著者が書く女性性は、これでもかというくらい「女の性」をさらすのに、清々しくてカッコイイのが不思議で堪らない。加えて、不器用だったり、子どもっぽい男性を愛をもって書いているのが伝わってくるのが、またおもしろい。

春秋社

一七〇〇円

## イエスの幼子時代

J・M・クツツエー著

ノーベル賞作家クツツエーが描くのは、初老の男と五歳の少年が移民船で出会い、少年の母親を探す物語。訪れたのは過去を捨てた人々が暮らす街、ノビージヤ。

生活は保障されているが生気のない街の人々と、そこでのどこか不穏な生活が皮肉を交え、しかしユーモラスたつぷりに描かれている。起こるのは、徹頭徹尾「今ここ」で起きる出来事である。

終章、居場所をなくした二人は、血の繋がらない新しい母親を見つけ、新天地へと旅立つのだが、「ここではないどこか」などないように思える。

早川書房

二三〇〇円

今月の  
おすすめ

文庫・新書

あしたはひとりにしてくれ

竹宮ゆゆこ著

都内の難関高校に通い、仲の良い友達もいる。父と母の自慢の息子であり、妹にも懐かれている。居候の高野橋さんとの仲も良好だ。……でもこんな生活はまやかしかだ。本当は自分のモノではない。心に湧き上がるそんな衝動を、彼は秘密の場所に埋めているぬいぐるみにつけることで解消していた。地面の中から伸びてきた手に、自分の手を掴まれた今日までは。謎の女性・アイスとの出会いをきっかけに、主人公英人は自分と家族について、あらためて考えさせられていく。

コミック『とらドラノ』の原作などで知られる作家・竹宮ゆゆこの、文庫文庫での第一作目。切れ味の鋭いギャグと、心に迫るシリアス。一つの作品に二つの要素を融合させる技術は、今作でも健在。少し変わった家族のアットホームなコメ

デイと、心に闇を抱えた少年の葛藤とを、

絶妙なバランスで描写している。

色々と秘密を抱えている人物が出てくる本作だが、そんな作品に明るさをもたらしてくれるのが、瑛人の家族である月岡家の面々。居候を二人も受け入れる度量の広い両親に、バカだけと底抜けに明るい妹。この三人の存在が、この物語をシリアスなだけでは終わらせない。

文庫文庫

六〇〇円

うどん、キツネつきの

高山羽根子著

第一回創元SF短編賞佳作となった表題作を含めた五編からなる短編集。

まず、表題作のタイトルに心をつかまれる。キツネつきの「うどん」って？

「うどん」は三姉妹が拾ってきた「犬」の名前である。うどんと三姉妹の十五年がテンポのよい会話を通じて描かれる。「うどん」とは一体なんだったのか。最後まで読めばわかるかも。

日常の中にちよっとだけ不思議な要素が混ざっていたり、何かをきっかけにおかしなことになっていったりする五編が収録されている。それぞれの語り口がまったく違うのに驚き、読後は頭感覚が

ちよっとずれて感じられるのが楽しい。

創元SF文庫

九四〇円

牛肉論

田辺晋太郎著

「肉マイスター」として、TVやラジオ、WEBで肉の魅力を紹介する著者が、牛肉にまつわるさまざまなことを詳しくわかりやすく教えてくれる。

日本人がいつからどのように牛肉に親しむようになったのか、という歴史に始まり、牛肉を食べる上で、これを知っておけば美味しく楽しくいただけるとい知識が満載。

例えば、肉の部位、ホルモンの名称、最近よく聞く等級のA4、A5の意味とは何か。家で食べるとき、または外で食べるときの美味しい肉、美味しい店の選び方、お店でのマナー、接待で焼肉を食べる際の振る舞いなど。

なんと、一緒に焼肉を食べに行くとその人の本性がわかるとまで著者は言う。牛肉と、そこに関わる人たちへの愛とリスパケトが詰まった一冊。

ポプラ新書

八〇〇円

今月の  
おすすめ

芸術



## 安西水丸さん、 デザインを教えてください！

安西水丸装幀作品研究会著

イラストレーターや作家として活躍した安西水丸さんは、村上春樹作品をはじめ、数多くの装幀を手掛けたことでも知られている。

本書はそんな安西水丸さんの装幀作品を八つのテーマに分類し、それぞれ六作品ずつ紹介。アートディレクターである水口克夫さんと駆け出しデザイナーであるオザキエミさんが、デザインに込められた安西水丸さんの意図を想像を交えな

がら解説している。

巻末には、本書で紹介しきれなかった装幀作品を約一七〇点収録している。

デザインに込めた安西水丸さんの思いを感じ取ってみてはいかがだろうか。

Hotchkiss 一五〇〇円

## ピタゴラ装置は こうして生まれる

DVDブック

佐藤雅彦＋ニューフラテス著

NHKの人気教育番組「ピタゴラスイッチ」そこに登場する「ピタゴラ装置」のアイデアがいかにして生まれたかを解説しているのが本書である。

軽妙な音楽と共に計算しつくされた装置が動き、時には良い意味で予想を裏切ってくれるような仕掛けには、ついつい見入ってしまう方も多いのではないだろうか。楽しく科学を学べるような内容にもなっており、比較的手に入りやすい材料で作ることも出来るそうなので、ぜひ、自分だけの「ピタゴラ装置」を考えてみてはいかがだろうか。

ブルーレイ版も同時発売(三三二〇〇円)。

小学館 二八〇〇円

## 吹部ノート2

オザワ部長著

高校野球といえは甲子園、バレーボールといえは春高バレー、そして、吹奏楽といえは全日本吹奏楽コンクール。

年一回開催されるこの全国大会に出場すべく、高校生たちは地区大会、都道府県大会、支部大会の突破を目指し猛練習を積むのである。

本書では、全国大会を目指す強豪校七校をそれぞれ一カ月間取材し、部員たちが抱える苦悩や葛藤、それらを乗り越えた先にある成長や喜びを交えながら、大会への道のりを部員の「吹部ノート(練習の反省や仲間の寄せ書きが書かれたノート)」等とともに綴っている。

大人数で行う吹奏楽だからこそ起こる、人間関係のトラブル。人に伝えるという競技だからこそ大事になる、自分自身の心の持ち様。

十二分という時間に込められた一年分の思いがあるからこそ、あんなにも美しいハーモニーが奏でられるのだと感じられる一冊である。

ベストセラーズ 一二〇〇円

今月の  
おすすめ

実用書  
地図・旅行書

ニッポンを解剖する！

沖縄図鑑

旅行に行きたいけれど、どのガイドブックを買えばいいのかわからない。そんな経験はありませんか？特に、同じ場所にも何度か足を運ぶリピーターの方々からは、「本に書いてあるところには、もうみんな行っちゃって……もつと違う本はないの？」と言われることもしばしば。

そんなあなたにお薦めしたいのが本シリーズ。通常のガイドと大きく違うのは、掘り下げ方の深さである。例えば沖縄なら、植生から陸海の生き物図鑑、日本と中国の技法がミックスされた独自の建築様式や、果ては沖縄舞踊の美しい踊り方までが、豊富な図版とイラストで、わかりやすく説明されている。

地図を片手に観光名所を回るだけでなく、その土地に息づく文化をも味わいたい方に手に取っていただきたい。沖縄以外のラインナップは以下三点。

ニッポンを解剖する！ 東京図鑑

ニッポンを解剖する！ 京都図鑑

ニッポンを解剖する！ 名古屋東海図鑑  
(すべて一六〇〇円)

JTBパブリッシング 一六〇〇円

世界のおばあちゃん料理

ガブリエール・ガリンベルティ著

小梨 直訳

カメラとパソコンと日記だけを旅の共に、二年間で五十か国以上を旅します。そこで出会ったこと、経験したことを記事にして、週に一回読者に送り届けます——この企画が雑誌社の目に留まり、ひとりで世界に飛び出した著者が、帰国後にまとめた本が本書。ご飯を作ってくれたおばあちゃんの写真とエピソード、料理の写真とレシピがワンセットになっている。その数なんと五十八人！料理の写真が鮮やかで美味しそうなのはもちろんだが、おばあちゃんの写真もそれぞれのお家の中、台所や居間で撮影されているので、普段の暮らしが垣間見られるのも面白い。読んでよし、眺めてもよし、作っても良しの三拍子そろった一冊。

河出書房新社 一六〇〇円

こうすりや健康 「コンビニ飯

松生恒夫著

「コンビニご飯で健康？」と思う方も多いだろう。かくいう私も初見ではそう感じ、疑いのまなざしで本書を開いた。けれどそこは医学博士が著者なだけあり、とても理論的に説明してくれている。現代の食生活に欠けているものは何なのか、そしてそれをコンビニ飯の何でどう補うべきなのか。不健康な男性がコンビニ飯で健康になっていく実験などを交えながら、コンビニ飯の長所と短所をひとつひとつ説明してくれている。特に

気になったのは「足し算・引き算の法則」の章。コンビニ弁当の中でも、摂取すべき食材と避けた方がよい食材を挙げ、避けた物の代わりにコンビニで手に入る食材で栄養を補う、というもの。一見どういうこと？と思えるが、読んでいくうちに理解は深まり、なるほど実践してみようかなという気持ちになるのだから不思議だ。巻末にはコンビニ飯で一週間の献立が組んであり、ひとり暮らしの方にも、今晚は家族と食卓を囲むことが難しい方にもぜひおすすめしたい。

中央公論新社 一四〇〇円

## 今月の おすすめ

### 語学・辞典

日本の家庭料理をやさしい  
英語で教えてみませんか？

富永恵美子著

二十五年ほど前に横浜で著者がアメリカ人の友人たちのために開いた、日本の家庭料理教室のレシピを対訳で紹介する。

まずはご飯の炊き方やだしの取り方といった基本から、寿司・とんかつ・すき焼き・カレー等の人気メニュー全三十品を収録。習った人が自国に帰った後も作れるようにと、材料も分量もわかりやすく工夫されているのが特色だ。加えて、調理行程にはシンプルな対訳の解説とカラー写真がついているため、英語だけではなく同時に料理も学ぶことができる。また、各所に挿入されたレッスン中の会話から、調理を通じた交流の楽しさが伝わってくるのも魅力だ。

英語学習への意欲と共に、食欲も刺激してくれる一冊である。

ペレ出版

一八〇〇円

1か月で復習する

### 中国語基本の500単語

呉 春姫著

本書は中検準四級合格を目指す人のための単語集。単語帳に多くあるレイアウトではあるが、特徴的なのは見出し語を用いた例文のピンイン（発音表記）に、

赤線があることだ。この赤線は、音読をする際に切らずに続けて読むべき箇所を示している。例文だけを読んでいると、どうしても切るべき箇所が解らず、なんとなくで切っている人も多いだろう。意味が解ってくれば区切りも自然とできるだろうが、初級者にはなかなか難しい。しかし、初級の段階から正しい区切りを意識すれば、より早く自然な中国語が話せるようになるだろう。

同シリーズにはフランス語もあり、同様に赤線で示してあるので、フランス語を学んでいる方にはこちらもおすすめだ。

語研

一六〇〇円

### 比較で読みとくスラヴ語のしくみ

三谷恵子著

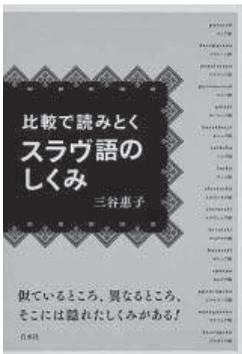
スラヴ語とはどんな言語なのか、その仕組みを「文字と音のしくみ」「語のし

くみ」「文のしくみ」の順で紹介している。言語は地域・歴史・文化的に、様々な形でほかの言語とつながっている。そのつながりの中で、音や語の形の変化を過去にさかのぼると、同じ語源にたどりつくと考えられるような言語間の関係が見えてくることがあるそうだ。

比較対象の言語はロシア語・ポーランド語・チェコ語・スロヴァキア語・ブルガリア語・クロアチア語・ベラルーシ語・マケドニア語・スロヴェニア語・セルビア語・クロアチア語・ボスニア語など幅広い。こう羅列していくとかなり幅広い言語のつながりとなっていて、ことが分かる。スラヴ語に絞った本は少なく、中でも比較に焦点をあてているのは本書だけのようである。

白水社

三四〇〇円



今月の  
おすすめ

児童書

人形の家にすんでいた  
ネズミ一家のおはなし

マイケル・ボンド文

エミリー・サットン絵 早川敦子訳

大きいおやしきにある立派な人形の家に暮らす十五匹のネズミ一家。住み心地も良く、しあわせな日々を送っていますが、一大事が起こります。一家の温かな楽しい暮らしが伝わる素敵な表紙から始まり、ネズミたちの洋服や家具、壁紙など細部まで色彩豊かに描かれ、絵本のすみずみまで楽しめます。

徳間書店

一五〇〇円



ハリー・ポッターと呪いの子

第一部・第二部

J・K・ローリング／

ジャン・ティファニー／

ジャック・ソーン著

ジャック・ソーン舞台脚本

松岡佑子訳

ハリー・ポッターシリーズのその後を描く続きの物語が舞台の脚本という形で刊行されました。葛藤を抱えるハリーの息子アルバスを中心に進む物語は、今まで明かされなかった内容も多く、世界観をより深める続編となっています。

静山社

一八〇〇円

スピニー通りの秘密の絵

L・M・フィッツジェラルド著

千葉茂樹訳

亡くなった祖父が遺した「卵の下を探せ」という謎の言葉と古い聖母子像の絵。哀しげに描かれた聖母子像の出自を調べていたセオは、思いがけずある巨匠の名前へと辿り着きます。祖父の過去と聖母子像の秘密を巡って、美術の知識に富んだ十三歳の少女が謎を追っていきます。

あすなろ書房

一五〇〇円

明日の平和をさがす本

宇野和美／さくまゆみこ／土居安子／

西山利佳／野上 暁編著

日本は七十年以上戦争をしていません。子どもの本に関わる編者たちの、子どもたちが戦争の悲劇を味わうことのないようにという思いから、二〇〇〇年以降に発行された本の中から精選し、いろんな立場の人たちがその本の紹介をしたリストです。それ以前に出た本もテーマごとに編者たちがまとめています。

岩崎書店

一九八〇円

先生が本なんだね

語りの入門と実践

伊藤明美著

長年子どもたちにおはなしを語ってきた著者の体験談や具体例を交えながら、語りとはどういうものであるか、その心構えや考え方が述べられています。おはなしを語る意義や、手順のポイントが分かりやすく解説され、日本の伝統芸能や昔ばなしの再話などにも触れています。より良い語り子どもたちに届ける手引きとなる一冊です。

小澤昔ばなし研究所

一六〇〇円

# コミック フロアより

—第9回—

コミック売り場よりこんにちは！  
大人も子どもも一緒に親子で楽しめる  
メディア化が決定したマンガ作品を紹介  
するこのコーナー。二〇一七年もコミック  
売り場にある作品のメディア化がとても  
元気です。二〇一七年スタートのマンガの  
映像化、気になった作品があればコミック  
フロアにぜひ遊びに来てくださいね。



『一週間フレンズ』

『一週間フレンズ』  
(スクウェア・エニックス・ガンガンコ  
ミックスJOKER・葉月抹茶著)  
いつも誰ともかかわらずにいる藤宮さ

んと友達になりたいと思っていた長谷く  
んは、ノート運びをきっかけに藤宮さん  
と話しをすることができた、少しずつ近  
づいていく二人だが、藤宮さんには一週  
間で友達の記憶がリセットされてしま  
うという隠された事実が。それでも交換日  
記で一週間の記憶を綴って、巡ってふた  
りは友達になっていく。

すでにアニメ化された作品ですが、今  
度は二〇一七年二月に川口春奈さん、山  
崎賢人さん主演で実写映画化です。記憶  
障害を乗り越えて、好きを重ねていく  
純愛ストーリー、必見ですよ。

『セント  
☆おにいさん』

(講談社・モーニングKC・中村光著)

世紀末を無事に越えたブツダとイエス  
が、東京・立川でアパートをシェアして  
暮らす神様日常コメディ。「聖」とい  
う名字で風呂なし・ペット禁止のアパート

に住み、下界でバカンスを過ごす二人。  
衝動買いが多いイエス、お金に細かく家  
計を引き締めるブツダ、それぞれの個性  
あふれる弟子たち。

もはや知らない人の方が少ないかもし  
れないほどの大ヒット作ですが、爆笑間  
違いなしのぬくぬくコメディがなんと実  
写ドラマ化決定！と、ここまでしかま  
だ決まっていないのですが、どうやって  
実写するのが本当に待ち遠しくてたま  
らない、実写映像化です。



『セント☆おにいさん』

『ホクサイと飯さえあれば』

(講談社・ヤングマガジンKC・鈴木小  
波著)

大学に進学するため上京した山田文字、  
通称ブン。愛するぬいぐるみ？ホクサイ  
と共に、東京・北千住にやってきた。ア

アイデア満載、ピンボールレシビでもパツゲンに美味しいメニューの数々！

炊飯器がなければ空き缶でご飯も炊いちやう、ポットに麴を入れて八時間散歩してできたのは甘酒、ミートボールたくさん作ってスパゲッティ、いろいろあってもホクサイと飯さえあればハッピーなブンなのです。人見知りで妄想癖のあるブンだけど、お金がなくてもご飯は作って食べる、幸せな毎日。

そんなブン＆ホクサイの美味しいストーリーが二〇一七年一月から上白石萌音さん主演で実写ドラマ化されます。しかもドラマ「孤独のグルメ」シリーズ監督がメガホンを取るとあって、期待大の映像化です。



『ホクサイと飯さえあれば』

『ひるなかの流星』  
(集英社・マーガレットコミックス・や)

まもり三香著

すずめは、田舎暮らしの女子高生。両親が海外転勤になり、東京に暮らす叔父のところに預けられることになる。都会への引越しと転校。不安の中、東京へ降り立つが、そこは異次元だった。上京初日にして迷子になったすずめ、声をかけてきた怪しい男を振り切つてなんとか叔父さんの家につくと、そこにはあの怪しい男がノ。しかもこの怪しい男じつは……。

田舎者の主人公が都会でいろんなことやものに出会い、変わつていくすずめの恋と青春ストーリー。はじめての恋、告白、失恋、そして……誰もが経験する初恋が詰まった胸キュンが、永野芽郁さん、三浦翔平さん、白濱亜嵐さんという豪華キャストで二〇一七年実写映画化です。ぜひ映画館で胸キュンしてください！



『ひるなかの流星』

『異世界食堂』

(主婦の友社ヒーロー文庫・犬塚惇平著)  
とあるオフィス街に程近い商店街の一角にある食堂「洋食ねこや」。創業五十年以来サラリーマンの胃袋を満たしてきた食堂だが、毎週土曜日の定休日には特別営業。異世界限定の食堂。に変わる。私たちにとってはごく普通であるいつものメニューも、彼らにとっては世にも珍しい不思議な料理。ドラゴンも冒険者もエルフも魔術師も貴族も戦士も、みんな美味しいメニューに夢中なのです。

こちらも詳細はまだですが、アニメ化決定の作品です。漫画ではなくライトノベルというジャンルの小説なのですが、コミック売場で展開しているのでぜひ先物買いで手に取つてみてください。小説のアニメ化もまた期待度がありますよね。



『異世界食堂』

# ATION

<p>ジュンク堂書店  <b>＝名古屋栄店＝</b>            ☎(052)212-5360            [営業時間] 10時～20時</p> <p>丸善  <b>＝名古屋セントラルパーク店＝</b>            ☎(052)971-1231            [営業時間] 10時～21時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝口ト名古屋店＝</b>            ☎(052)249-5592            [営業時間] 10時半～20時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝名古屋店＝</b>            ☎(052)589-6321            [営業時間] 10時～21時</p> <p>丸善  <b>＝岐阜店＝</b>            ☎(058)297-7008            [営業時間] 10時～21時</p> <p>丸善  <b>＝四日市店＝</b>            ☎(059)359-2340            [営業時間] 10時～20時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝滋賀草津店＝</b>            ☎(077)569-5553            [営業時間] 10時～22時</p> <p>丸善  <b>＝京都本店＝</b>            ☎(075)253-1599            [営業時間] 11時～21時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝京都店＝</b>            ☎(075)252-0101            [営業時間] 10時～21時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝高槻店＝</b>            ☎(072)686-5300            [営業時間] 10時～22時</p>	<p>MARUZEN &amp; ジュンク堂書店  <b>＝梅田店＝</b>            ☎(06)6292-7383            [営業時間] 10時～22時</p> <p>丸善  <b>＝関西国際空港店＝</b>            ☎(072)456-6486            [営業時間] 7時～21時半</p> <p>丸善  <b>＝八尾アリオ店＝</b>            ☎(072)990-0291            [営業時間] 10時～21時</p> <p>丸善  <b>＝高島屋大阪店＝</b>            ☎(06)6630-6465            [営業時間] 10時～20時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝大阪本店＝</b>            ☎(06)4799-1090            [営業時間] 10時～21時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝難波店＝</b>            ☎(06)4396-4771            [営業時間] 10時～21時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝天満橋店＝</b>            ☎(06)6920-3730            [営業時間] 10時～21時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝上本町店＝</b>            ☎(06)6771-1005            [営業時間] 10時～20時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝梅田ヒルトンプラザ店＝</b>            ☎(06)6343-8444            [営業時間] 11時～22時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝近鉄あべのハルカス店＝</b>            ☎(06)6626-2151            [営業時間] 10時～20時</p>	<p>ジュンク堂書店  <b>＝奈良店＝</b>            ☎(0742)36-0801            [営業時間] 10時～21時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝西宮店＝</b>            ☎(0798)68-6300            [営業時間] 10時～21時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝芦屋店＝</b>            ☎(0797)31-7440            [営業時間] 10時～20時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝神戸住吉店＝</b>            ☎(078)854-5551            [営業時間] 10時～21時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝三宮駅前店＝</b>            ☎(078)252-0777            [営業時間] 10時～21時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝三宮店＝</b>            ☎(078)392-1001            [営業時間] 10時～21時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝神戸さんちか店＝</b>            ☎(078)335-2877            [営業時間] 10時～20時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝舞子店＝</b>            ☎(078)787-1250            [営業時間] 10時～21時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝姫路店＝</b>            ☎(079)221-8280            [営業時間] 10時～21時</p> <p>丸善  <b>＝岡山シンフォニービル店＝</b>            ☎(086)233-4640            [営業時間] 10時～20時</p>	<p>丸善  <b>＝広島店＝</b>            ☎(082)504-6210            [営業時間] 10時～22時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝広島駅前店＝</b>            ☎(082)568-3000            [営業時間] 10時～21時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝高松店＝</b>            ☎(087)832-0170            [営業時間] 10時～20時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝松山店＝</b>            ☎(089)915-0075            [営業時間] 10時～21時</p> <p>丸善  <b>＝博多店＝</b>            ☎(092)413-5401            [営業時間] 10時～21時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝福岡店＝</b>            ☎(092)738-3322            [営業時間] 10時～21時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝大分店＝</b>            ☎(097)536-8181            [営業時間] 10時～20時</p> <p>丸善  <b>＝天文館店＝</b>            ☎(099)239-1221            [営業時間] 10時～20時半</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝鹿児島店＝</b>            ☎(099)216-8838            [営業時間] 10時～20時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝那覇店＝</b>            ☎(098)860-7175            [営業時間] 10時～22時</p>
---	---	--	---

# INFORM

<p>MARUZEN &amp; ジュンク堂書店  <b>＝ 札幌店 ＝</b>            ☎(011)223-1911            [営業時間] 10時～21時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝ 旭川店 ＝</b>            ☎(0166)26-1120            [営業時間] 10時～19時半</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝ 弘前中三店 ＝</b>            ☎(0172)34-3131            [営業時間] 午前10時～午後7時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝ 盛岡店 ＝</b>            ☎(019)601-6161            [営業時間] 10時～21時</p> <p>丸善  <b>＝ 仙台アエル店 ＝</b>            ☎(022)264-0151            [営業時間] 10時～21時            日・祝10時～20時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝ 仙台TR店 ＝</b>            ☎(022)265-5656            [営業時間] 10時～21時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝ 秋田店 ＝</b>            ☎(018)884-1370            [営業時間] 10時～20時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝ 郡山店 ＝</b>            ☎(024)927-0440            [営業時間] 10時～19時</p> <p>丸善  <b>＝ 水戸京成店 ＝</b>            ☎(029)302-5071            [営業時間] 10時～21時</p> <p>丸善  <b>＝ 丸広百貨店飯能店 ＝</b>            ☎(042)973-1111            [営業時間] 10時～19時</p>	<p>丸善  <b>＝ 丸広百貨店東松山店 ＝</b>            ☎(0493)23-1111            [営業時間] 10時～19時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝ 大宮高島屋店 ＝</b>            ☎(048)640-3111            [営業時間] 10時～21時</p> <p>丸善  <b>＝ 桶川店 ＝</b>            ☎(048)789-0011            [営業時間] 10時～21時</p> <p>丸善  <b>＝ 津田沼店 ＝</b>            ☎(047)470-8311            [営業時間] 10時～21時</p> <p>丸善  <b>＝ 舞浜イクスピアリ店 ＝</b>            ☎(047)305-5808            [営業時間] 11時～21時、土・日・祝10時～21時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝ 松戸伊勢丹店 ＝</b>            ☎(047)308-5111            [営業時間] 10時～21時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝ 南船橋店 ＝</b>            ☎(047)401-0330            [営業時間] 10時～21時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝ 柏モディ店 ＝</b>            ☎(04)7168-0215            [営業時間] 10時半～20時</p> <p>MARUZEN &amp; ジュンク堂書店  <b>＝ 渋谷店 ＝</b>            ☎(03)5456-2111            [営業時間] 10時～21時</p> <p>丸善  <b>＝ 丸の内本店 ＝</b>            ☎(03)5288-8881            [営業時間] 9時～21時</p>	<p>丸善  <b>＝ 日本橋店 ＝</b>            ☎(03)6214-2001            [営業時間] 9時半～20時半</p> <p>丸善  <b>＝ お茶の水店 ＝</b>            ☎(03)3295-5581            [営業時間] 月～金10時～20時半            土10時～20時            日・祝10時～19時</p> <p>丸善  <b>＝ 多摩センター店 ＝</b>            ☎(042)355-3220            [営業時間] 10時半～21時</p> <p>丸善  <b>＝ 有明ワンザ店 ＝</b>            ☎(03)5530-5701            [営業時間] 10時～19時半</p> <p>丸善  <b>＝ メトロ・エム後楽園店 ＝</b>            ☎(03)5684-5130            [営業時間] 10時～21時</p> <p>丸善  <b>＝ 新宿京王店 ＝</b>            ☎(03)5321-8327            [営業時間] 10時～20時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝ 池袋本店 ＝</b>            ☎(03)5956-6111            [営業時間] 月～土10時～23時            日・祝10時～22時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝ プレスセンター店 ＝</b>            ☎(03)3502-2600            [営業時間] 10時～20時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝ 大泉学園店 ＝</b>            ☎(03)5947-3955            [営業時間] 10時～22時</p>	<p>ジュンク堂書店  <b>＝ 吉祥寺店 ＝</b>            ☎(0422)28-5333            [営業時間] 10時～21時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝ 立川高島屋店 ＝</b>            ☎(042)512-9910            [営業時間] 10時～21時</p> <p>丸善  <b>＝ ラゾーナ川崎店 ＝</b>            ☎(044)520-1869            [営業時間] 10時～22時</p> <p>丸善  <b>＝ 横浜ポルタ店 ＝</b>            ☎(045)453-6811            [営業時間] 10時～22時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝ 藤沢店 ＝</b>            ☎(0466)52-1211            [営業時間] 10時～21時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝ 新潟店 ＝</b>            ☎(025)374-4411            [営業時間] 10時～21時</p> <p>ジュンク堂書店  <b>＝ 岡島甲府店 ＝</b>            ☎(055)231-0606            [営業時間] 10時～19時</p> <p>丸善  <b>＝ 松本店 ＝</b>            ☎(0263)31-8171            [営業時間] 10時～20時</p> <p>MARUZEN &amp; ジュンク堂書店  <b>＝ 新静岡店 ＝</b>            ☎(054)275-2777            [営業時間] 10時～21時</p> <p>丸善  <b>＝ 名古屋本店 ＝</b>            ☎(052)238-0320            [営業時間] 10時～21時</p>
--	---	---	---

営業時間は変更する場合がございます。ご了承ください。

定休日については、お手数をおかけしますが弊社HPまたは直接各店までお問い合わせ下さい。

# ブックブレスター



## 編集後記

明けましておめでとうございます。本年も、丸善ジュンク堂書店と「書標」をよろしくお願いたします。

年初は営業時間・店休日に変更のある店舗がございますので、お手数をおかけしますが、店内告知やホームページなどをご確認の上、ご来店くださいますようお願いいたします。

(緒)

## 投稿募集

☆読者の皆様の投稿を募集しています。最近読まれた本の感想文、本にまつわるエッセイ、など本に関するもの。最近読んでおもしろかった本、感動した本、考えさせられた本を教えてください。四〇〇字×六〇〇字程度で、おすめの本のタイトル、出版社、住所、氏名、年齢、職業を明記の上、お送り下さい。掲載分には二千円の図書カードを差し上げます。なお、原稿はお返しいたしませんのでご了承ください。

☆尚、本誌掲載と同時に、ホームページにも掲載させていただきます。

〒171-0022 東京都豊島区南池袋二一五六一

丸善ジュンク堂書店「書標」編集室係

TEL〇三―五九五六―六一一

いつも「書標」をご愛読いただきましてありがとうございます。本誌定期購読料は以下の通りです。

定期購読料 年間二二〇〇円(送料込)

現金書留もしくは八十二円切手十五枚で

お申し込み先

〒171-0022 東京都豊島区南池袋二一五六一

丸善ジュンク堂書店特急係

TEL〇三―五九五六―六一二〇

FAX〇三―五九五六―六一〇〇



QRコード

PC・スマートフォンから  
<http://www.junkudo.co.jp/>



## 「静男」

「ジュンク堂」という名前が全く認知されていなかったこの地に、「MARUZEN & ジュンク堂書店新静岡店」の名で開店して、はや五年。

「長い店名だなあ。」

「お菓子屋さんですか？」

等のお声も頂くなか、現在まで、本当に多くのお客様にご利用頂き、そして支えられて参りました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

そんな当地での勤務を続けている中で、強く印象付けられている事があります。それは、静岡の人々の「郷土愛」の深さです。そんなどの地域でも一緒だよ、と思われるかもしれませんが、店頭での商品の動きから、それは強く感じ

られるのです。

ある一時期、別に示し合わせた訳ではない（ある出版社談。）そんなのですが、静岡県あるあるネタや、歴史、地理読本といった、手軽に読めるご当地本が立て続けに発売された事があります。その数七〜八種類。形態も、文庫、新書、一般書、ムックと多岐にわたりました。

それだけ似通った内容の商品が続けば、興味も売行きも初めはともかく、トーンダウンしていくものなのですが、新たな商品が出ればまた売れる、一種のお祭り状態となり、まとめて購入されるお客様も数多く、週間売上ベスト10の内、三冊がそれらご当地だったという事もありました。皆さん、まとめて読む事で、改めて地元の良さを認識し、郷土愛を高められたのでしょうか。結局、一、二、三ヶ月の期間に、ある書籍は七〇〇冊、この書籍は五〇〇冊、と各種が破格の売上を記録し、その勢いに大変驚かされました。

そこで私も、これだけ売れた本に記されている、静岡の県民性とはどんなものなのか、気になって読んでみました。

まず、女性は陽気で活発、言いたい事をズバズバ言う等々。なるほど、納得。では、男性は？一言で言うなら、「静男」。しずだんです。温厚。おおらか。草食。静岡男子と静かを掛けてそう呼ぶんだそう。当店の顔ぶれで当てはめてみたら……激しく同意。

上手い事書くなと頷く「知的で、洗練された生活を好む」といわれる出身地の県民性（男子）をほぼ持たず、寧ろ静男比率の高い神戸出身の私は、静岡生活が長く、静男要素をほぼフルスペックで備える息子と共に、「明るく、話し好きで、洗練されていないものに厳しい」神戸女子である上に、先述の静岡女子の特性まで身に付け始め、更にバージョニアップをしつつある妻の叱咤激励に気圧される日々を送っているのです。とほほ……。（K）

「書標 ほんのしるべ」 第458号

編集・発行人 工藤 恭孝

発行所 (株)丸善ジュンク堂書店

印刷所 (株)七 旺 社

〒160-0008

〒653-0013 東京都新宿区三栄町二十九  
神戸市長田区一番町二丁目一

二〇一七年一月五日発行 頒価五十円（本体四十六円）

「書標ほんのしるべ」昭和61年7月15日第三種郵便物認可  
2017年1月5日発行（毎月1回5日発行 通巻第458号）



日本全国で  
3,000万冊の品揃え!  
丸善ジュンク堂書店

頒価 五十円（本体 四十六円）

ジュンク堂書店

淳久堂書店

M MARUZEN